

令和5年9月16日 定例作業 の報告をします。

9/16（土）いただきますの森 定例作業について報告をします。

定例作業は9時からスタートしました。

当日は初め曇り空だったのですが、徐々に晴れ間が広がり、まだまだ汗ばむ陽気での作業となりました。

所々で水分休憩をしながら作業を行いました。

いただきますの森の定例会に参加された方の人数は約大人9人、子ども6人でした。

いただきますの森の作業としては、小豆周りの草刈り、東側の草刈り、虫ホテル材料準備、果樹の支柱立て、

畑の畝作り、大根の種まき、ミツバチの見守り等を行いました。

いただきますの森では、大豆が実をつけ始めていたり、小豆には黄色い花が咲き、みかんの実が大きく成長しています。東北の角に植えてあるのがさつまいもで大きく葉を茂らせながら成長しています。

北側中央付近のフェンス沿いに植わっているのが三寸ささげで長い実をつけていたので収穫し、みんなで分けました。

花壇に植わっているローゼルがきれいな薄ピンク色の花をつけていました。







小豆の周りの草は刈って小豆の根元に草マルチとして敷きます。草マルチをすることで、土の乾燥を防ぐことや

草マルチの下はいろいろな生き物の住処となったり、朽ちて地表から土を育みます。

東側の草刈りは、運営でも作業をしたのですが、半分作業が残っていたため、残りの草刈りを行いました。

草刈りでは土の根元ギリギリを切ってしまうとすぐ草が成長してしまうため、高刈りと言って草の根元10cm前後

で切るとすぐには成長しないそうで、試しに高刈りをしました。今後の様子を観察しようと思います。

子どもたちには、とうもろこしの残渣の皮をむいてもらい、虫ホテルの材料準備として作業をしてもらいました。

とうもろこしが植わっていた辺りに新しく畑の畝作りし、その畝に大根の種を子どもたちと一緒に蒔きました。

種はいた森メンバーが持参して頂いたものと去年いただきますの森で採れた大根の種を使用しました。

すくすく元気に育ちますようにと仕上げに祈りました。今後の成長が楽しみです。

休憩後有志でミツバチの様子を見に行きました。

環境政策課の方も果樹の支柱立てやミツバチの観察、花壇前の草刈りを行って下さりました。



今回新しくいただきますの森の活動に加わって下さった方もいらっしゃる、少しずつですが一緒に活動する仲間も増えていきます。環境に負荷のかけない農業にご興味がおありの方は、ぜひ活動にご参加下さい。

いただきますの森では正解を求める場ではなく、みんなで探求する場に出来たらと思います。

自然の変化に合わせて作物や生物のサポートをしながら共存する場であったり、共育ちしていけたらといいなと思います。作業にご参加いただきました皆様、ありがとうございました。

(文責：いただきますの森 プロジェクト 前川)